



プレス・リリース

インフォシス基金、パバガーダの Sri Ramakrishna Sevashrama に Silver Jubilee Block を発足

バンガロール (インド) - 2021 年 9 月 4 日: [インフォシス](#) (NSE、BSE、NYSE: INFY) の慈善事業と CSR 活動を担う [インフォシス基金](#) は、本日、パバガーダの Sri Ramakrishna Sevashrama に Silver Jubilee Block を発足したことを発表しました。同基金は、他の医療施設の中でも最高クラスの眼科および耳鼻咽喉科医療を患者に提供することを目指し、本ブロックの建設と開発に 5500 万インドルピー (約 8250 億円) の助成金を提供しました。

Silver Jubilee Block は、M. Venkaiah Naidu インド副大統領の列席を得て、バーチャルで発足されました。

インフォシス基金からの助成金は本ブロックの建設に活用され、今後は眼科診療所、外科手術用の手術室、先端技術診断センター、耳鼻咽喉科センターおよびがんクリニックが入居する予定です。さらに、助成金の一部は手術室に必要な医療機器、什器、コンピューター、空調設備の調達にも役立てられました。

この Silver Jubilee Block は、年間ではほぼ 4000 件にのぼる手術を実施し、少なくとも 3 万名の外来患者に診療を提供することを目指しています。

今回の発足にあたり、**インフォシス基金のチェアパーソンである Sudha Murty** は次のように述べています。「インフォシス基金は常に、必要とする人々に最善を尽そうと努力しています。この病院とサービスは、インドの数千人にのぼる社会的弱者の患者を支援することを目指しています。このたび、Venkaiah Naidu 副大統領のご列席を仰ぎますことに感謝申し上げます。また、パバガーダの Sri Ramakrishna Sevashrama のご発展をご祈念申し上げます。」

Sri Ramakrishna Sevashrama の責任者である Swami Japananda 氏 は次のように述べています。「インフォシス基金との継続的な協働に感謝いたします。適切な治療を提供し、社会的弱者である患者が質の高い診療を受けられるよう支援することは、インドの医療サービスの発展に大きな役割を果たします。この挑戦に対するインフォシス基金の揺るぎない献身と支援に、心より感謝いたします。」

この取り組みは、インフォシス基金が病院や隔離施設を増床し、公衆に適切な医療措置が確実に提供されるよう力を注いでいる活動に、さらに追加して行われるものです。この 1 年半の間、インフォシスはインド国内で合計 20 億ルピー (約 30 億円) をコロナウイルス対策に投じてきました。また、インフォシス基金は州政府とのパートナーシップにより 150 床のコロナウイルス対策病院をバンガロールに設置しました。最近では 7 万 5000 平方フィート (約 7000 平



方メートル) におよぶ最先端の多診療科外来部門 (OPD) ブロックをバンガロールの Kidwai Memorial Institute of Oncology に建設するための支援を実施しました。

インフォシス基金について

1996 年に設立されたインフォシス基金は、教育、農村開発、健康、芸術・文化、貧困問題の解決に関するプログラムを支援しています。インド国内の複数の州における辺境地での活動を使命としています。インフォシス基金は社会のあらゆる部門と協力し、果てしない関心を持ってプロジェクトを選択し、伝統的に社会から取り残されてきた地域で活動することに誇りを持っています。詳しい情報は、<https://www.infosys.com/infosys-foundation> でご覧になれます。

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 50 개국でお客様のデジタル変革を実現しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NSE、BSE、NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当、財務的期待、当社の従業員、顧客およびステークホルダーへの COVID-19 の影響を管理するための計画を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2020 年会計年度年次報告書 (Form 20-F) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先

マーケティング本部 安藤 09010450448

Mail: jo_ando@infosys.com